

音楽科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
【表現】 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	【鑑賞】 音楽のよさや美しさを味わって聴き、言葉で表現する力を身に付ける。

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	発声方法について理解し、正しい発声方法で歌うことが課題である。ア 鑑賞した楽曲について、言葉で表現することに課題が見られる。イ	発声方法については、口の開き方や発音の仕方を、手を使って動きを付けながら覚えさせ、音高に変化のあるものに切り替える。また、範唱を多く行う。 鑑賞に興味をもたせることができるように、視聴覚教材を吟味する。また、具体的で分かりやすい文言で課題を提示する。	歌唱の授業時 鑑賞の授業時	
第2学年	リコーダーに関して、運指やタンギング、リズムや音の長さについて課題が見られる。ア 曲のよさや美しさ、特徴等について、考える力に個人差が見られる。イ	リコーダーでは、教材を工夫して運指を分かりやすくし、音源を聴いたり、歌ってリズムを覚えたりする活動を毎時間取り入れる。 鑑賞では生徒が興味・関心をもてるような資料作りをする。	リコーダーの授業時 鑑賞の授業時	
第3学年	リコーダーの運指やリズムに関して、理解する力に課題が見られる。ア 興味・関心をもって聞くことはできるが、よさを自分の言葉で表現する力に課題が見られる。イ	リコーダーは補助プリントを用意し、運指が視覚的にも分かりやすくなるよう工夫する。リズムについては、歌しながら指を動かす活動を取り入れる。 鑑賞では資料の内容を吟味し、その作品のよさを書く活動を取り入れる。	リコーダーの授業時 鑑賞の授業時	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等ICTの効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
〔全学年〕 Google Classroomに各学年で取り組んでいる合唱曲やリコーダーの曲の参考音源を投稿し、音源を聴きながらリズムや運指を確認する 鑑賞の授業で使ったスライドを動画化し、個人のペースで復習できるようにする 〔重点:個別〕	〔全学年〕 毎時間自己評価シートを記入し、学習の前後で自分がどのように変化したか、何を学んだかを確認する。 実技テストの後にも必ず振り返りを書き、今の自分の課題や、次の実技テストや今後の演奏活動で必要なことは何か考えさせる。